

会報

秋

No.191

2020.10

一般社団法人北海道電業協会



道有施設の整備と働き方改革について	
北海道建設部建築局建築整備課 設備・環境担当課長 高 田 誠……………	1
副会長就任ご挨拶	
(一社)北海道電業協会副会長 大 東 勝 広……………	2
地区協会会長就任ご挨拶	
宗谷電業協会会長 梅 津 秀 人	
上川電業協会会長 片 岡 幸 人……………	3
法人職務執行者就任ご挨拶	
日比谷総合設備(株)北海道支店 支店長 久 島 正 嗣	
(株)関電工北海道支店 支店長 国 井 雅 和	
サンワコムシスエンジニアリング(株)北海道支店 取締役支店長 大 村 佳 久…	4～5
令和2年度 札幌市電気設備施工研修会……………	6
～シリーズ～ 「私のいちおし」	
協信電気工業(株) 取締役会長 佐 藤 繁 男……………	7
～シリーズ～ 1 / 212便り	
自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち ～小樽市～	
小樽市長 迫 俊 哉…	8～9
日本一の豆のまち ～本別町～	
本別町長 高 橋 正 夫…	10～11
現場からこんにちは……………	12
業界だより、理事会・三役会・委員会報告……………	13～14
事務局日誌……………	15
編集後記……………	16



道有施設の整備と働き方改革 について

北海道建設部建築局建築整備課

設備・環境担当課長 高田 誠

(一社)北海道電業協会の皆様には、日頃より北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界中の経済に影響がでており、終息についてもいまだ不透明な状況であります。日常生活においても不要不急の外出を控え、人が多く集まる施設などではイベントの開催中止や収容人数を制限し3密（密閉・密接・密集）を避けるなど、対策を講じながらの生活を余儀なくされているところです。こうしたなか、建設業界においては「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」による取り組みに努められており、今後も継続されますようお願いいたします。

道では職場内や通勤時の混雑を回避するため、在宅勤務や時差出勤を実施しており、建築局でも感染防止対策として現場への出張を控え、ウェブ会議やメールを活用し、対面しての打ち合わせをできる限り減らす工夫をしながら北海道スタイルの習慣化に取り組んでおります。

さて、今年度の建築局発注工事では、発注時期の平準化に向け早期発注を行い、7月末で概ね発注を終えたところです。今後は、保健所16施設に大規模災害時や停電時における、避難所や住民への医療などのニーズに対応できるよう連続して72時間運転可能な発電機の整備を予定しているほか、道立学校、道営住宅の整備を併せますと約249億円の工事費を見込んでおります。

また、昨年度から取り組んでいます「週休2日工事」「工事関係書類の簡素化」「工事現場への快適トイレの導入」を引き続き推進するほか、総合評価落札方式では、円滑な事業執行への貢献に対する評価として、施設を使用しながらの内部改修工

事で大きな制約を受けるものや離島における僻地工事、その他特に高い技術力を必要とする工事には、次年度以降発注の総合評価方式適用工事に加点することとしております。

道有施設の整備においては、長寿命化改修、改築等の建築物のストックマネジメントに取り組み、建築局が一体となって今後も業務を推進し「確かな建築技術とストックマネジメントにより、地域とともに歩み続ける公共建築物を目指して～北海道150年から次世代への継承」を掲げ、価値ある道有建築物とともに、確かな技術も次世代に受け継いでいきたいと考えています。

貴協会の取り組みにおかれましては「働き方改革を進めて、夢と生きがいのある魅力的な業界を目指す」など掲げ、就労者の技術・安全衛生基礎教育講習会の開催や長時間労働の是正及び週休2日の実現に一層の生産性向上や若年者の入職促進や担い手の育成・確保にも力を注がれており、次世代への継承にご尽力いただき感謝しております。

今後も官民一体で情報共有し、連携・協力させていただくことで道内の建設業界の持続的な発展につなげていけることを期待しております。

最後になりますが、今の新型コロナウイルス感染は、まだまだ油断できない状況です。まずは、皆様一人一人が健康でなければ、素晴らしい取り組みの効果も期待できません。今しばらく、気を抜かず、しっかりと感染対策を講じながら日頃の業務を進められますようお願いするとともに、貴協会のさらなるご発展と会員皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

副会長就任ご挨拶



(一社)北海道電業協会副会長
日本電設工業(株)
執行役員北海道支店長

大 東 勝 広

会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、6月の第2回理事会にて副会長を仰せつかまつりました、日本電設工業(株)北海道支店長の大東 勝広でございます。

平素より会員の皆様には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

当協会の理事として約4年半を無事に務めさせていただいたのも、会員皆様からのご支援があったものと感謝申し上げます。

道内の業界も、現在は新型コロナウイルスの影響が大きく、受注環境や作業環境の変化への取り組みに、早々に取り組まなければならない状況ですが、先を見ると、北海道新幹線札幌延伸や冬季オリンピック招致での建設需要の高まり、多くの札幌圏での再開発事業と、明るい材料はたくさんあります。

これからも皆様と共に、安全・安心で明るい業界とすべく、微力ではありますが、当協会発展のため精一杯責務を果たしてまいりますので、ご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

【好きな言葉】

・希望は人を成功に導く信仰である。希望が無ければ何事も成就するものではない。

(ヘレンケラー)

【ためになった本】

・転がる石は玉になる

(野田順弘：オービック会長)

【趣味・暇つぶし】

・支店長になってから本格的に始めたゴルフが現在の趣味

・暇つぶしは、猫2匹に嫌われるまでちょっかいを出すこと

地区協会会長就任ご挨拶



宗谷電業協会 会長
梅津電気(株) 代表取締役

梅津 秀人

本年度、宗谷電業協会会長に選出されました、枝幸町の梅津電気株式会社の梅

津でございます。

宗谷電業協会は宗谷管内13社で構成されている組織であります。会員数は年々減少しておりますが、利尻、礼文の会員とも交流を深めており、諸先輩が築き上げてきたおかげと感謝するところがあります。

管内の業界の状況ですが、若手技術者の不足、新入社員が入ってこない、離職率の増加等が問題となっており、電気工事業界の魅力をどう発信していくかについて、今後の課題として、取り組んで参りたいと考えております。

管内の特徴といたしまして、風が強い街が多く、風を利用した風力発電が増えていき、それに伴い蓄電設備、送電線網の工事が最盛期を迎えております。これらの工事に当協会員も携わっており、新しい技術などのスキルを向上できたらと思っております。

また、新型コロナウイルス感染拡大における経済、社会への影響が出てきており、当協会としても、関係機関、各団体等のご指導を賜りながら、会員の安心安全に努めていきたいと思っております。

以前より開催しております、発注関連機関との意見交換会を通じ、意思疎通を密にして、成果品の品質向上も目指してまいります。

最後になりますが、宗谷電業協会では地域社会への貢献を目指し、会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



上川電業協会 会長
(株)電業 代表取締役

片岡 幸人

会員の皆様方におかれましては、ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

ます。

このたび、令和2年度通常総会にて、上川電業協会会長に就任いたしました片岡でございます。就任にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当協会は、上川管内における23市町村より、37社の会員で構成されている組織です。現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、北海道内も経済活動が停滞するなど、先行きが見えない状況下であります。さらに、他業界同様、近年急速に進展する職員内での高齢化と若者の就業離れから、将来の担い手の確保・育成など、克服すべ

き課題も山積みであり、これらの解決に向けた積極的な取り組みも求められております。このような状況下だからこそ、協会会員が一丸となり、「地域の守り手」としての社会的使命を果たすとともに、将来電気設備事業に携わることを目指す若者が希望や誇りを持てるような産業となるよう、一歩一歩邁進していくことが重要であると考えております。

当協会の役員の皆様をはじめ、西山前会長が築いてこられた実績に感謝と敬意を表しますとともに、新しい令和の時代におきましても、電気設備事業の適正な施工を確保するとともに地域社会活性化の重要な役割を務められるよう、会員皆様方のより一層のお力添えを賜りながら、精一杯努力してまいります。

最後に、北海道電業協会のご発展と会員皆様方の今後のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



日比谷総合設備(株)
北海道支店 支店長

久 島 正 嗣

秋晴の候、会員各社の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び

申し上げます。

この度、2020年6月24日付で富江 覚司の後任として北海道支店長に就任いたしました久島 正嗣でございます。

平素は、当協会ならびに会員各社の皆様には大変お世話になり、厚く御礼を申し上げます。

弊社は、1966年に日比谷総合設備株式会社として東京都港区にて創業し、札幌には1970年に営業

所を開設、翌年に支店となりました。

建物には欠かすことのできない空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、情報通信設備の4分野を業務の核としながら、省エネ・CO2削減コンサルティングの視点で取り組む「エネルギーマネジメント」にも取り組んでいます。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響も大きく、先行きの不透明感も増しつつありますが、前を向いて、希望をもって業務に取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、新任のご挨拶とさせていただきます。



(株)関電工
北海道支店 支店長

国 井 雅 和

秋冷の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し

上げます。

この度、前支店長太刀川 雅弘の後任として、7月1日付で北海道支店長に就任いたしました国井 雅和でございます。

平素より、当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様のご指導を頂きながら、当協会及び業界各位の発展に微力ながら最善を尽くす所存でありますので、前任者同様よろしく願いいたします。

当社は、昭和19年の設立以来、「人間第一」を社

是とし、地域社会との共存共栄を目指す総合設備企業として、積極的な事業活動を展開してまいりました。昭和45年に札幌支社を開設以来、現在では、札幌市の北海道支店を中心に、千歳市・帯広市・函館市・豊富町に営業所を配置し活動いたしております。

私事ではありますが、生まれも育ちも北海道帯広市で、入社以来札幌勤務と東京勤務を繰り返し札幌勤務20年目に入っております。北海道に対する愛着が非常に強く、少しでも地域及び業界の発展に寄与出来ればと思い努めてまいります。

また、社会はコロナ禍のもと先行きが見通せず不安な日々が続いておりますが、当協会の皆様と共に何事にも明るく前向きに取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健康を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



サンワコムシス
エンジニアリング(株)
北海道支店 取締役支店長

大村 佳久

清秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、2020年7月1日付で森本 茂の後任として北海道支店長に就任いたしました大村 佳久でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

当社は、1947年に設立された三和電気興業株式会社を前身とし、全国に事業を展開しております。創業以来、半世紀以上にわたり培ってきた技術力を駆使し、情報通信技術（ICT）を支える総合エンジニアリング企業として情報通信・社会インフラの構築に取り組んでまいりました。

北海道支店におきましても、情報通信・電気設備・環境エネルギーの分野で、コンサルティングから提案・設計・施工・運用・メンテナンスまで、お客様に最適なトータルソリューションをワンストップで提供し続けております。

私事ですが、弊社北海道支店長とともに、株式会社つうけんの代表取締役社長も兼任しており、これからも時代とともに変化していく環境や社会的要請に応じて、今後の北海道の更なる発展及び道民の皆様の豊かな生活を支える社会基盤づくりに、両社をあげて貢献できるよう努めてまいります。

今後とも皆様のご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

新型コロナウイルスを含む感染症対策へのご協力をお願い致します。

3つの「密」を避けましょう



日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

令和2年度 札幌市電気設備施工研修会



令和2年7月15日(水)北海道電気会館において、当協会及び(一社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など83名が参加しました。今回で37回目となるこの研修会は、札幌市から担当者をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明を受け、今後の施工技術向上などに役立てています。

はじめに主催者を代表し、当協会の佐藤 友昭技術安全委員長から「電設業界として、電気設備の設置や保全に向けた技術力の向上や、技能者の要請に取り組むことが重要であり、本研修もその一助となるよう意義あるものとして頂きたい」と開会挨拶がありました。

また、札幌市都市局建築部の高松 静知電気設備課長からは「今年度の工事発注件数は70件程度を予定しており、7月10日現在でこのうち約40件を告示している。長時間労働の是正や業界の担い手不足等の課題にも取り組みを進めていく」との講話を頂きました。この後、講師の皆さまから電気設備工事に関する留意事項、電気設備工事仕様書改定内容などについて説明を頂きました。

引き続き会員から事前に寄せられた質問・要望の8項目には、電気設備課と工事監理室が分担して丁寧にご回答いただき、互いの認識共有を図りました。

最後に、(一社)札幌電設業協会の米田 功技術委員長から工事施工の留意事項、事故事例、工事仕様書の改定内容等について講師の皆様より詳細な

解説をいただいたことに対する謝意を表し、閉会挨拶といたしました。



高松電気設備課長

【研修内容】

1. 札幌市発注の電気設備工事に関する講話
2. 昨年度の電気設備工事を振り返って
3. 公共工事の検査について
4. 令和2年度電気設備工事仕様書改定内容について
5. 会員からの質問・要望に対する回答について

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長 高松 静知 様

電気一係長 天野 雅之 様

電気二係長 佐藤 公俊 様

札幌市財政局工事管理室技術管理課

電気検査担当係長 鈴木 常夫 様

〃 三木 隆茂 様

～シリーズ～ 「私のいちおし」

協信電気工業(株)

取締役会長 佐藤 繁男

7月の下旬の4連休、本来であれば北海道は海に山にそして小さな旅でもしたいと思いますが、今年は全国的にコロナの第2波感染が進行している状況なので、外出自粛をしている方も多いと思います。早くの事態収拾を願っています。

美味しく、楽しい飲食関係のとも思いましたが、今回は私のもう一つの楽しみを披露いたします。

私は道南の函館で、小さい頃から海を見て大きくなりました。港には青函連絡船、船、漁船と新鮮な魚介類に囲まれて育ちました。また釣りも大好きで若いときは電業協会の釣り部に所属し、皆様と一緒に楽しみました。



現在制作中の3隻

その流れでしょうか、海に関するものには今でも興味があり、また幼い頃から物を作る事が大好きでプラモデル等の制作等で遊んでいました。しばらく離れていましたが15年ぐらい前から木製の船づくりをやり始めました。現在未完成3隻をゆっくりと制作しています。

簡単に完成までの工程を説明します。

お気に入りの船の写真、図面等を参考にしてまずは船体を作成する事から始めます。方法は主に積み重ね組立、ビルトアップ（竜骨組立）があり完成時に軽い、実際の船に近い竜骨組立を採用しています。

骨組が出来たら次に甲板を張り、船側外板を流線型に作成し取り付けます。地味な作業が長時間続きます。削り、ヤスリ等で修正し自分が納得できるまで、イメージを膨らませながらの反復が木製の船の制作の楽しみと醍醐味かと思えます。

次に手すり、窓、付属品も一つひとつ丁寧に作成します。帆船の場合は次にマスト、見張り台、舵等を作成します。

その次にセール（帆）の作成、ロープワーク（ロープ張）を行い、ほぼ完成していきます。「青い海に白い帆」のコントラストのイメージが現実になるのです。

普段の生活と同様に同じ事の繰り返しですが、自分のステップアップに大きな夢を与えてくれる様な感じがします。



出来栄えに満足



自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち ～小樽市～

小樽市長 迫 俊 哉



■まちの概要

小樽市は、北海道西海岸ほぼ中央、後志地方の東側に位置し、札幌市など4つの市町村に接しています。

東西に長く、市街地の一方が海に面し、その他の三方が山々に囲まれている本市は、坂のまちとしても全国的に知られています。

およそ69キロメートルにわたる海岸線は、中央に小樽港、東側に石狩湾新港地域や銭函工業団地を擁し、西側は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されているなど多様性に満ちた構成となっています。

また、令和4年8月に市制施行100周年を迎える本市は、「自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち 小樽～あらたなる100年の歴史へ～」を目指すべき将来の都市像として掲げています。



旧国鉄手宮線（幌内鉄道）

■観光の現況

小樽市は、観光都市として国内外から年間およそ700万人の観光客の方々にお越しいただいております。明治期以降の産業や文化が培ってきた歴史の面影を色濃く残す小樽運河や石造倉庫、銀行建築群が織り成す街並み、新鮮で豊富な海産物、スイーツやご当地グルメなどが人気を集めています。

しかしながら、本年2月以降の世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客、とりわけ、訪日外国人は激減し、本市経済や市民生活にたいへん大きな影響を及ぼしています。

そのような中、今後、新型コロナウイルス収束後を見据え、公共施設や観光施設、各店舗等における感染防止対策の拡充を含めた「おもてなしの心」に磨きを掛け、観光の「質」の向上を重視しつつ、道内を中心とした国内のお客様が一様に満足していただける新たな小樽観光の姿を打ち出していまいります。

当分の間、道民の皆さんによる道内周遊が、北海道観光を支えていくものと考えております。是非、小樽へお越しください。

■北海道初の鉄道と文化施設

1879（明治12）年に、北海道初の近代炭鉱である官営幌内炭鉱（現在の三笠市幌内）が開鉱され、その石炭を運ぶための幌内鉄道は、北海道初の鉄道として1880（明治13）年に小樽（手宮）～札幌間が開通し、1882（明治15）年には幌内まで

の全線が開通しました。幌内鉄道は、小樽港への石炭運搬だけではなく、収穫した農産物の輸送に活躍するなど、人や物資の輸送円滑化を通じて道都札幌の発展も支えました。

空知、小樽に室蘭を加えた三都を結ぶ当時の鉄道は、全道の鉄道ネットワークの基軸となり、それぞれのエリアの基幹産業である石炭・港湾・鉄鋼は北海道の産業近代化を先導しました。

この、3つの基幹産業からなるストーリーは、【本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～】として、令和元年度、日本遺産に認定されました。

「炭鉄港」の12市町、46に及ぶ構成文化財のうち、6つが小樽市内に存在していますが、中でも「旧手宮鉄道施設（国指定重要文化財）」は必見です。「しづか号」など、多くの鉄道車両と共に小樽市総合博物館（本館）でご覧いただけます。



旧手宮鉄道施設（国指定重要文化財）

■主なイベント

◎おたる潮（うしお）まつり

海への感謝と小樽の歴史や文化を次世代に伝承し、郷土小樽の発展を市民挙げて祈念する祭典です。例年、7月末の週末に開催され、約7千人の踊り手によるパレード「潮ねりこみ」や、大花火大会などたくさんの行事が行われ、同時開催される「小樽がらす市」と合わせて、市内が祭り一色に染まる3日間です。

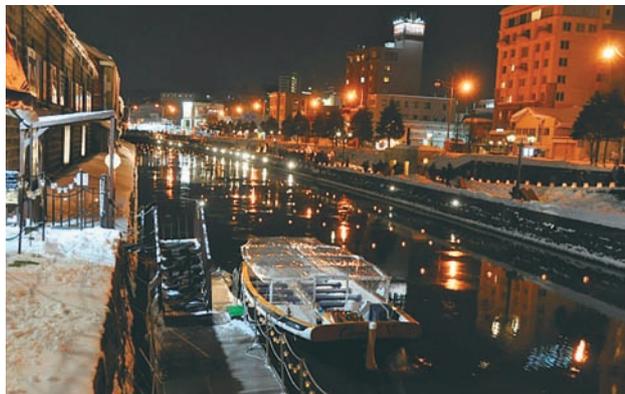
（令和2年度 第54回おたる潮まつりは中止となりました。）



おたる潮まつり（潮ねりこみ）

◎小樽雪あかりの路

キャンドルの灯火が古い街並みを優しく照らす幻想的なイベントです。運河会場、手宮線会場、朝里川温泉会場を中心に、ろうそくの温かなあかりが来場者をもてなします。第23回小樽雪あかりの路は、令和3年2月6日(土)から13日(土)の8日間開催の予定です。



小樽雪あかりの路（運河会場）

■ふるさと納税

海産物や水産加工品、スイーツ、酒類、ガラス工芸品などあらゆる「小樽産品」をご寄付いただいた市外の方々へのお礼の品として用意させていただいております。詳しくは、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」(外部サイト)でご確認願います。



寿司のまち 小樽



がらすのまち 小樽



ご当地グルメ「あんかけ焼きそば」

◇小樽市ホームページアドレス

<https://www.city.otaru.lg.jp>



日本一の豆のまち ～本別町～

本別町長 高橋正夫



神居山展望台

■まちの概要

明治35年、本別外5カ村戸長役場が本別村に置かれ、昭和8年の町制施行により本別町となり、平成13年に開町100年、来年には開町120年を迎えます。本別町は、十勝川の支流、利別川沿いの沖積土地帯に広がる肥沃な土地に恵まれ、日本でも有数の長さを誇る日照時間と寒暖差約60度の気候で育てられた良質な豆を特産品として、畑作と酪農が調和した農業を基幹産業に発展してきました。地理的には、十勝の東北部に位置し、東は浦幌町・釧路管内白糠町に、西は士幌町・上士幌町に、南は池田町、北は足寄町にそれぞれ隣接しており、総面積は391.99km²におよんでいます。東部と南部は標高200m前後の丘陵地帯、西部・北部は50mから300mの段丘地帯となっており、市街地東部の高台には、これらの自然や畑地に囲まれた市街地を一望できる神居山展望台があります。

■まちの特産品

◎キレイマメ

原料に本別町原産の黒豆「中生光黒」を使用しており、本別生まれの安全で美味しい黒豆を食べて体の中から綺麗になってほしいという願いを込めて、キレイマメと名付けられました。キレイマメブランドの商品は、納豆、味噌、豆腐をはじめ、

町内にある北海道立農業大学校で生産された生乳に、きな粉を練りこみ、甘納豆をトッピングしたアイスクリームなど、数多くの商品があります。



■まちの観光スポット

◎義経の里本別公園

本別公園は、町の東側、市街地より車で5分ほどのところに位置し、清流本別川の兩岸に跨って25.8haの広大な敷地を有しています。毎年5月になると1万6千本のエゾムラサキツツジと2千本のエゾヤマザクラが満開になり、園内を埋めつくします。また、園内には次の通りさまざまな施設・遊具があり、あふれるばかりの自然が満喫できます。



本別公園

<かぶと池ボート>

本別公園内のかぶと池では、手こぎ・足こぎボートを楽しむことができます。池の中央には島があり、水辺に囲まれてゆったりと過ごすこともできます。池の中には元気な鯉がたくさんおり、毎年多くの家族連れが楽しんでいます。

<交通公園（ゴーカート）>

本別公園内の南側に、信号機や踏切などを設置した交通公園があります。子どもに大人気のゴーカートやバッテリーカーに乗ることができ、親子で交通ルールを学ぶ場所としても利用できます。

<静山キャンプ村・義経の里御所>

本別公園内には、複数の宿泊環境が整っています。静山キャンプ村は、無料で利用できるキャンプ場で、炊事場、トイレ、駐車場のほか、バンガローも完備されています。義経の里御所は、平屋建て・中世書院風造りと趣あるコテージが全5棟あり、12畳の居間のほかに8畳・4.5畳の和室があるため、ゆったりと過ごせる広さです。また、簡易キッチンには調理器具がそろっており、材料を持ち込むことで自炊ができます。



■まちのイベント

◎本別山溪つつじ祭り

つつじ祭りは、春の訪れとともに5月上旬に開催しています。ピンクや紫のきれいな花々で彩られた本別公園を会場に、多くの出店や名物の「ジャンボ義経鍋」、楽しいイベントが盛りだくさんで、毎年多くの来場者でにぎわっています。

◎きらめきタウンフェスティバル

きらめきタウンフェスティバルは、本別町では最も大きなお祭りで、9月上旬に開催しています。1日目には、音楽に合わせて中国小型煙火やスターマインなど6千発の花火が打ち上がる「東十勝花火大会」、2日目には、ポニーばん馬レースや有名歌手を招いた歌謡ショーなど、さまざまなステージイベントがあります。その他にも、本別産食材を使ったグルメ、友好都市である徳島県小松島市や白糠町の特産品といった多くの味覚を味わうことができます。



◎ほんべつ豆まかナイト

本別町の特産品である豆をテーマに、総重量2トン超の「激豆まき」や本別産の豆を使ったグルメが楽しめる「豆マルシェ」などを企画し、“日本の豆のまち”にふさわしく節分を盛り上げようと、1月下旬に開催しています。



◇本別町ホームページアドレス

<https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

現場からこんにちは



工事名称 芸術の森地区新設小学校新築
ほか強電設備工事
工事場所 札幌市南区常盤2条3丁目
252-4ほか
工期 令和1年11月25日～令和3年3月5日
工事概要 校舎・児童会館・屋内運動場棟
RC造3階建、延べ面積約8,460㎡
プール棟S造一部W造平屋建、延べ面積510㎡の新築に伴う、受変電、幹線、動力、電灯、暖房、屋外照明、非常用発電設備工事

発注者 札幌市

請負者 橋本電気工事株式会社

芸術の森地区新設小学校は、少子化に伴った児童数の減少が進んだことから、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、石山東小学校と常盤小学校の保護者や地域住民等と学校規模適正化に向けた検討を重ね、両校の統合校として新設されます。子どもたちの通学への負担感等を考慮し両校の概ね中間に当たる、札幌市南区常盤2条3丁目にある、ときわスポーツコミュニティ広場(2.2ヘクタール)を活用し、子どもの安全や利便性の観点から、複合化して児童会館も設置されます。

校舎はRC造3階建、屋内運動場はPC梁を採用。3階建と一体型で、敷地東側の運動場を取り巻く形で建物を配置し、普通教室は南面に集約していて、校舎中央には光庭を設置します。

さらに、敷地北側にはS一部W造り平屋建のプールを設置します。

建設される芸術の森地区は、北から南に向かって、緩やかな上り坂が続き、東西には急傾斜に囲まれ、起伏に富んだ地形になっているため、高低差のある3段に分かれた敷地を、2段に造成し、段差を活かした施設に工夫されています。

取材は8月に行い、現場の進捗率は10%程度。先日コンクリートが上棟し現在は、1階からケー

ブルック吊り込み、天井内配線、LGS配管を作業中。来月にはキュービクル、非常用発電機を搬入予定です。

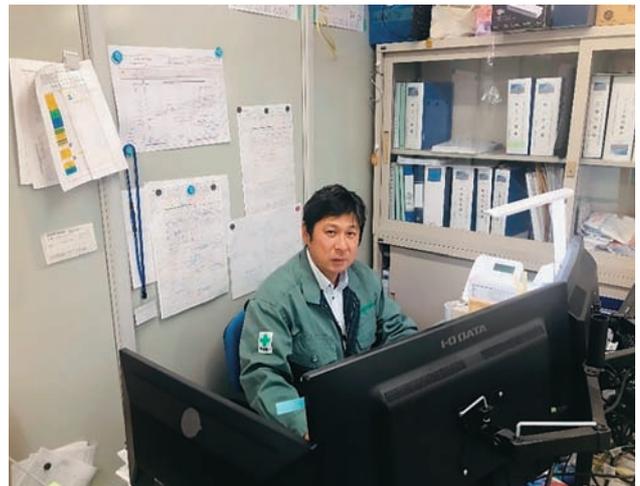
作業現場は、残暑が厳しく暑い中、各種作業が輻輳しながら急ピッチで行われ、工程管理に非常に苦慮されていました。

またコロナ対策では、全体朝礼時のソーシャルディスタンスを確保、毎日の職員及び作業員の体温・体調管理の徹底に合わせ、うがい手洗いマスク着用の励行を徹底して取り組んでおりました。

そして春には生徒たちを無事に迎え入れることができるよう、工事関係者全員が現場内での安全作業はもとより、生徒や近隣住人へ配慮、対策をしながら工事を進め、無事しゅん功できるよう団結し努力していました。

取材した私たちも、無事に安全で施設がしゅん功することを祈願し、この新設される学校が石山東小学校と常盤小学校の特色ある教育や歴史に配慮し、地域の町並みにとけ込むすてきな学校になる光景が待ち遠しく思います。

取材 広報委員 大塚雅史、松岡孝夫



現場代理人 大場 裕二さん

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(令和2年6月24日付)		(令和2年7月1日付)	
○日比谷総合設備(株)北海道支店		○(株)関電工北海道支店	
(新)支店長	久島 正嗣	(新)支店長	国井 雅和
(旧)執行役員支店長	富江 覚司	(旧)常務執行役員支店長	太刀川雅弘
(令和2年7月1日付)		(令和2年6月29日付)	
○サンワコムシスエンジニアリング(株)		○上川電業協会	
北海道支店		(新)会長	片岡 幸人
(新)取締役支店長	大村 佳久	(旧)会長	西山 陽一
(旧)支店長	森本 茂		

理事会・三役会・委員会報告

理 事 会

◇令和2年6月25日(木)

第2回議題

【協議事項】

1. 令和2年度の役員会等主要行事の日程について
2. 電業協会及び電設協道支部の令和3年度定時総会日程案について
3. 会員代表者の変更に伴う後任役員候補者等の対応について
4. 当面の協会行事への対応と協会運営について
5. 令和2年度の役員・常設委員会の体制及び事業実施計画について
6. 令和2年度の経営者懇談会、セミナーについて

【報告事項】

1. 令和2年度 札幌市電気設備施工研修会の開催について
2. 会員の諸変更について
3. 令和2年7月～8月の行事予定について

◇令和2年8月28日(金)

第3回議題

【協議事項】

1. 令和2年度の役員会等主要行事の日程について
2. 会員代表者の変更等に伴う後任役員候補者等の対応について
3. 令和2年度「経営者懇談会・セミナー」の開催要領(案)について
4. 臨時総会の招集について
5. 令和2年度 諸官庁との意見交換会等の調整状況(電気空衛関連)
6. 北海道開発局事業振興部との意見交換会について

【報告事項】

1. 会員の諸変更について
2. 令和2年9月～10月の行事予定について

|| 三 役 会

◇令和2年8月4日(火) 12:00~13:30

第3回議題

【協議事項】

1. 会員代表者の変更等に伴う後任理事候補者等の対応について
2. 令和2年度「経営者懇談会・セミナー」の開催要領(案)について
3. 臨時総会の招集について
4. 令和2年度 諸官庁との意見交換会等の調整状況(電気空衛関連)

【報告事項】

1. 札幌市電気設備施工研修会について(報告)
2. 電設協 令和2年度「会員大会」の開催中止について
3. 会員の諸変更
4. 令和2年8月~9月の行事予定について
その他意見交換

◇令和2年9月8日(火) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 令和2年度 下期の協会行事への対応と協会運営について(案)
2. 令和2年度「経営者懇談会・セミナー」の会員案内(案)について
3. 臨時総会の進行(案)について

【報告事項】

1. 北海道開発局営繕部と電気空衛両協会との意見交換会の開催
2. 会員の諸変更
3. 令和2年9月~10月の行事予定について
その他意見交換

|| 経営委員会

◇令和2年9月9日(水) 13:30~15:00

第2回議題

【報告事項】

1. 第291回政策委員会の開催概要について
2. 令和2年度 経営者セミナーの開催内容について
3. 北海道開発局及び札幌開発建設部との意見交換会について

【協議事項】

1. 令和2年度 分離発注要請活動について
その他意見交換

|| 広報委員会

◇令和2年9月11日(金) 15:00~17:00

第2回議題

1. 会報「冬号」の編集内容(案)について
2. 新春特集について
3. 来年度からの会報発行時期と記事内容について
その他意見交換

事務局日誌

- 7月8日(水)・北海道赤レンガ建築賞委員会
(第二水産ビル) 宇野専務
- 10日(金)・本部第291回政策委員会
- ～11日(土) (東京) 笠島経営副委員長
- 15日(水)・札幌市電気設備施工研修会
(北海道電気会館) 鎌田事務局長
- 22日(水)・本部常任理事会
(電設協本部) 吉本支部長
- 8月4日(火)・第3回三役会議
- 20日(木)・本部・支部事務連絡会議
(Web会議) 宇野専務
- 28日(金)・第3回理事会・常議委員会
- 9月3日(木)・本部運営委員会
(電設協本部) 吉本支部長
- 8日(火)・第4回三役会議
・本部第292回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 9日(水)・第2回経営委員会
(北2条クラブ)
・北海道開発局及び札幌開発建設部との意見交換会
(札幌開発建設部)
- 11日(金)・第2回広報委員会
- 17日(木)・労働衛生週間説明会
(北海道建設会館) 宇野専務
- 24日(木)・建設産業交通安全全道大会
(札幌ガーデンパレス) 鎌田事務局長

編集後記

この度は、会報誌「秋号」の発刊にあたり、北海道建設部建築局建築整備課設備・環境担当課長の高田 誠様より「道有施設の整備と働き方改革について」との演題にてご寄稿いただき誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

皆様、今なおコロナ禍のなかで、新北海道スタイルを励行し、感染予防対策を講じながらの生活を強いられ、何かと先行き不透明な状況に更なる不安を抱いている事と思います。こうしたなか、私ども建設業界では、「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」による取り組みに努め、日々職場や工事現場では、今までにない制約を課しながら仕事に従事しているところであります。

電気工事業界も、重要なインフラを担う業界として、コロナ禍の状況下であっても、より一層の安全・安心をお届け出来るよう細心の注意を払い、社会貢献と社業の発展に邁進して行きたいと思っております。

広報委員会 副委員長 木村 賢史



発行 令和2年10月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>